JFEトンボみち ファンクラブ通信　2015年5月号

今年も集まれ！元気な子どもたち
～ 募集:トンボとり大作戦2015 ～

トンボとりをとおして、子どもたちに地域の自然環境に興味を持ってもらうことを目的にして、JFEトンボみちで「トンボとり大作戦」を行います。自由参加で事前申込み不要、参加費無料、手ぶらでおいで下さい。

調　査　員：小学生、中学生
実施予定日：6月13日(土)、28日(日)
（雨天中止）　7月11日(土)、26日(日)
8月15日(土)、30日(日)
9月12日(土)、27日(日)
10月10日(土)、25日(日)
実施時間：午前9時～11時(2時間)
お問合せ：090-4627-8821(柴田)

おじいちゃんと一緒に
(昨年9月21日)

蛇籠が安全にリフォームされました！
ー トンボみち補修工事が完了 ー

設置して6年が経ち、針金が飛び出したり、砕石が抜かれて穴ができたりして、危険になっていた蛇籠部分の補修工事が、5月12日から19日までの期間、行なわれました。

トンボ池や線路側が板で縁どりされたような形で、チョット見すると不自然ですが、時間が経てば徐々に馴染んでくるだろうと期待しています。

工事期間中は利用が制限されて、みなさまにはご不便をおかけしましたが、子どもたちも安全に遊べる場所にリフォームされましたので、これからもドンドンご利用くださいネ。

工事前

→

工事作業中

→

完成

【連載8】トンボ百科　～ あなたもとうとうトンボ博士？ ～

今回もトンボ誕生の謎を、トンボ博士がズバリお答えします。

⑤トンボの赤ちゃん誕生（4月号からの続き）

Q2. 丈夫な殻をどうやって破り生まれるか？

産み落とされた卵は**1週間から10日ぐらいで発生**を遂げ、**目の位置がわかる眼点**ができる。この時、ヤゴは卵の中で薄い皮をかぶった「前幼虫」と呼ばれる姿でいる。その**頭部には卵歯という出っ張り**を持ち、これで**卵の丈夫な皮を破って孵化**する。こうして外へ出ると、まとっていた薄皮を脱ぎ捨て一齢幼虫となる。まだ小さいので、はじめはミジンコなどを捕食し、成長につれてボウフラやオタマジャクシなどを捕らえるようになる。

Q3. 脱皮は何回するのか？

ヤゴも成虫になるまで、一般の昆虫と同じく脱皮をしなければならない。その回数は**ハラビロトンボ**で**10～11回**、**ギンヤンマ**で**12～13回**で、種類によって**8～15回ぐらいの幅**がある。一般昆虫は3～5回程度なので、**トンボの回数は多い**と言える。

（文責：田口正男農学博士）

※この「トンボ百科」は、横浜市環境保全協議会発行の「かんきょう横浜」から転載しています。

【シリーズ】　トンボみちの仲間たち

4月25日（土）のファンクラブ活動の様子です。　（撮影：山田さん）

畑づくり

入学記念植樹

モッコウバラ

時無し大根の収穫

ヤゴの抜け殻

ファンクラブのみなさん

活動予定　※雨天は1週間延期

今月：　5月23日（土）　9時～11時

来月：　6月27日（土）　9時～11時

事前の申込みは不要です。誰でも参加可能！

公式ホームページをご覧ください

トンボみちファンクラブ　検索

JFEトンボみち　ファンクラブ通信　2015年5月号
発行日：2015年5月20日
発行者：トンボみちファンクラブ通信事務局
事務局：〒230-8611　横浜市鶴見区末広町2-1
JFEエンジニアリング（株）総務部 施設管理室
Tel045-505-7447、Fax045-505-6546

ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています。

京浜の森ロゴマーク

ファンクラブ通信に使用しているリサイクル用紙は、古紙パルプ配合率１００％です。